

1) システムの名称 :

HOPE EGMAIN-GX (ホープイージーメインジーエックス)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

1. 電子カルテ・所見記述系、2. オーダエントリ系、8. 看護・介護系

3) 特色 :

1. シェア No. 1 の実績で培われたノウハウを結集し、医療現場における使い易さを追求
電子カルテソリューションで導入数国内シェア No. 1 の実績を生かし、診療現場の声を集約し、利用する医師・看護師を中心とした医療スタッフが直感的に操作できることを目指して画面デザインを一新、ユーザーインターフェースを向上し、医療現場における使い易さを追求しております。
2. 業務の効率化を支援するきめ細かい機能の提供
外来患者用診療カレンダーや看護のポータルとなる経過表機能の拡充等による診療情報の俯瞰性の向上、また医療スタッフのワークフローに沿った画面遷移による業務の効率化を実現しました。
3. 現場の声を反映して成長する電子カルテソリューション
当社の電子カルテソリューションは、お客様で構成される電子カルテフォーラム「利用の達人」で検討された改善機能や新機能を定期的なレベルアップとしてご提供し、常に最新機能を保守契約のサービス範囲内で利用いただくことが可能です。さらに、入力された情報を自動的に学習してオーダ発行の効率化を支援する機能など、診療に役立つ数々の先進機能も搭載しており、電子カルテの次世代を切り拓くソリューションとしての機能強化を図っていきます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

利用者の思考、医療行為の流れに即したユーザーインターフェースの提供
HOPE EGMAIN-GX では診療上必ず必要な患者基本情報を常時表示し、診療録の多彩な入力表現の実現、表示の HTML 化等、患者様の状態をひと目で見渡せるように、カルテの入力・表示方法に徹底的にこだわって開発しました。さらにナビゲーターからの情報検索や付箋機能等、直感的な操作に必要な情報へのアクセスを可能とすると共に、利用者毎のお気に入りボタンやナビゲーションマップ等、最小限の操作数で診療録の入力やオーダ発行が可能となりました。

<機能一覧>

- 利用者認証
- 患者選択
- 基本
- 診療カレンダー
- セーフティマネジメント支援
- 病棟業務
- オーダ
 - ◆処方・注射オーダ ◆検査オーダ ◆生理検査オーダ
 - ◆放射線検査オーダ ◆予約オーダ ◆病理オーダ
 - ◆処置オーダ ◆入院オーダ ◆リハビリ／透析
 - ◆手術・麻酔・輸血依頼オーダ ◆指導オーダ／他科診依頼
- 統合部門ライブラリ
- 歯科ライブラリ
- 検体検査結果参照
- 診療画像・レポート参照
 - ◆画像 ◆レポート
- カルテ
 - ◆基本 ◆病名・プロブレム ◆カルテ作成支援
 - ◆サマリ ◆クリティカルパス ◆院内文書
- 看護
 - ◆基本 ◆病棟 ◆記録
- DWHシステム
- オプション
 - ◆画像システム ◆PDA
 - ◆地域連携システム ◆感染管理システム

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

- (1) マスタ／コード体系
MEDIS-DC 標準病名マスタ (ICD10) 準拠、その他 MEDIS-DC 標準マスタは部分的に採用
検査マスタは日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード (JLAC10) をベースに当社独自マスタ構築
画像検査マスタは JJ1017 画像検査コード Ver3 をベースに当社独自マスタ構築
※経済産業省の相互運用性実証事業の一環として、埼玉医科大学総合医療センター様等にて JJ1017 を採用して運用中。
- (2) データ交換規約
■ JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 4. 0C、JAHIS 放射線データ交換規約 Ver. 3. 1C、JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver. 3. 0C、JAHIS 内視鏡データ交換規約 Ver. 3. 1C、JAHIS 処方データ交換規約 Ver. 3. 0C、JAHIS 注射データ交換規約 Ver. 2. 1C、JAHIS 病名情報データ交換規約 Ver. 3. 1C、JAHIS データ交換規約 (共通編) Ver1. 1、JAHIS 基本データセット適用ガイドライン Ver. 2. 2 に基づき、HL7 Ver. 2. 5 形式でのデータ出力機能を装備しています。

そして、2003 年度から始まった IHE-J コネクタソンに参加して合格すると共に、各医療機関様への早期導入も実現しています。

(3) データ交換手法：TCP/IP ソケット会話を中心に実装

(4) IHE-J コネクタソン実装（合格プロファイル名）：

Radiology（放射線分野）

■SWF(Scheduled Workflow)：通常運用のワークフロー【ADT,Order Placer】

■PIR(Patient Information Reconciliation)：患者情報の整合性確保【ADT,Order Placer】

Cardiology（循環器分野）

■CATH(Cardiac Catheterization Workflow)：心臓カテーテル検査のワークフロー【ADT,Order Placer】

■ECHO(Echocardiography Workflow)：心エコー検査のワークフロー【ADT,Order Placer】

Endoscopy（内視鏡分野）

■EWF(Endoscopy Workflow)：内視鏡検査のワークフロー【Order Placer】

Laboratory（臨床検査分野）

■LTW(Laboratory Testing Workflow)：臨床検査のワークフロー【Order Placer,Order Result Tracker】

■LTW-MB(Laboratory Testing Workflow-MicroBiology)：臨床検査（細菌検査）のワークフロー

【Order Placer、Order Result Tracker】

■LBL(Laboratory Barcode Labeling)：採取管準備【Label Information Provider】

IT Infrastructure（IT インフラ分野）

■PAM(Patient Administration Management)：患者情報管理【Patient Demographic Supplier、Patient Demographics Consumer、Patient Encounter Supplier、Patient Encounter Consumer】

■PDQ(Patient Demographics Query)：患者情報の問合せ【Patient Demographic Supplier】

■CT(Consistent Time)：時刻の整合性【Time Client】

※当社は、従来医療情報の相互運用性確保に取り組んでおり、各種標準化要素（標準規格や標準マスタ等）を自社製品へ積極的に反映しています。当社の標準化への取り組みや IHE Integration Statement(IHE 統合宣言書)については以下のサイトをご参照下さい。

<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical///hcbrand/p06.html>

(5) 標準化未対応の場合、対応可否および追加費用の有無を記載

追加対応：可（お客様個別対応）、追加費用：有

(6) 厚生労働省標準規格（医療情報標準化指針）への対応

・HS001 医薬品 HOT コードマスタ：病院様独自コードから医薬品 HOT コードマスター（HOT9）への変換機能を有しています。（利用範囲：ストレージ作成）

・HS005 ICD10 対応標準病名マスタ：標準で採用しています。

・HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約：JAHIS 臨床検査データ交換規約に基づく実装を行っています。

・HS013 標準歯科病名マスタ：標準で採用しています。

・HS016 JAHIS 放射線データ交換規約：JAHIS 放射線データ交換規約に基づく実装を行っています。

・HS022 JAHIS 処方データ交換規約：

SS-MIX 出力において JAHIS 処方データ交換規約に基づく実装を行っています。（利用範囲：ストレージ作成）

・HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン：SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドラインに基づく実装を行っています。

・HS027 処方・注射オーダ標準用法規格：SS-MIX 出力において病院様独自コードから処方・注射オーダ標準用法規格への変換機能を有しています。（利用範囲：ストレージ作成）

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

「OS」サーバ：Linux または Windows Server 2012 R2 または Windows Server 2016

クライアント：Windows7, Windows8.1, Windows10

「機種」サーバ：富士通 PRIMERGY シリーズ クライアント：富士通 FMV シリーズ

7) 稼動までに必要な作業・期間：

システム規模によるため要問い合わせ。

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

3千万円台～ ※販売価格は最小構成におけるパッケージ標準価格となっております。

9) 保守の内容と費用：

システム規模によるため要問い合わせ。

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

富士通株式会社 ヘルスケアビジネス推進統括部 第一ヘルスケアビジネス推進部 TEL：03-6252-2701

関連ホームページ <http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/healthcare/>

（富士通ヘルスケアソリューション紹介ページ）